

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4470101967		
法人名	医療法人 展寿会		
事業所名	認知症対応型グループホーム「ふじ乃家」<本館>		
所在地	大分市大字寒田235番地の16		
自己評価作成日	令和5年2月17日	評価結果市町村受理日	令和5年5月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	令和5年3月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあっても利用者の安全確保をしながらのGH独自のレクリエーション・外出など職員で企画、実践行うことで四季折々の季節感を感じてもらおう支援をしている。 ・職員の朝食作り・おやつ作りを切磋琢磨しながら行っている。 ・医院との併設にて急変時の相談報告受診対応している。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・母体の医院との連携が取れており24時間安心である。 ・おやつ作りを利用者と共に毎日行っており、利用者の楽しみとなっている。 ・行動の制限が多い中、近所への散歩や馴染みの場所へのドライブなど可能性を見つけて実施されている。 ・職員間の連携があり管理者を含めチームワークが取れている。 ・職員は明るく利用者との距離感が近く、本人や家族との信頼関係が築かれている。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念の中に地域とのつながりを掲げ申し送り時に全員で唱和し常に意識し共有し実践につなげている。	理念を玄関に掲示し職員全員で共有している。地域とのつながりを大切にしており、散歩中に出会った地域の人と話をしている。利用者に対しては個別の対応に心掛け、その人に合った支援を行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍において地域との交流が困難な日々が続くも食材の買い物等で近場の商店との交流に努めている。	散歩中に地域の人と会話をしたり、施設の周りを掃除するなど職員がなるべく地域に顔を出したり話をするなどを心掛けている。近くの店に買い物に出かけるなどして地域との関りを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等の参加者を通じての認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて発信している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍において運営推進会議の開催が困難であるも会議参加者への状況、報告等を行いそこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催の案内状を出しているが中止となっており、3月に初めて開催される見込みである。交番の警察官や自治会、元利用者の家族で大学の先生が参加予定でいろんな意見を聞き、今後の支援に活かしていこうとする姿勢がうかがえる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	コロナ禍において会議等での情報交換が少なくなり電話連絡報告等にて協力関係を築くよう取り組んでいる。	何かあれば直ぐに電話して市からアドバイスをもらっている。コロナ対策については情報をお願い対応出来ており、大きな混乱には至っていない。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修又は新人職員に対して研修等で振り返りの時間を持ち職員全員で正しく理解をし取り組んでいる。	年2回研修を行っている。スピーチロックには気を付けており、ダメやちょっと待ってなど言ったときはその場ですぐに注意し確認している。センサーマットは使用せず室内の物音で感じ取り様子を見に行くなどの対応をしている。	

事業所名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と同様に十分に理解をし日常生活の中で虐待につながる言動、行動がないように職員間で注意し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在に対象者がいないが発生した場合には法人の全体会議等にて学ぶ機会を持つようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時に限らず改定等の際は家族への十分な説明を行い理解・納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先への意見箱の設置、訪問時や電話連絡時などに何でも話してもらえるように対応している。	玄関のドア越しでの面会で、その時希望などを聞いている。月1回支払いに来た時に普段の様子を話したり写真を見せたりしながら家族から意見を聞いている。家族からは医院が近いので安心して預けられると言われている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送りやGH会議に限らず常にコミュニケーションを図り意見や提案を受け入れている。	申し送り時や普段思った時いつでも聞いている。業務の流れなどお互い話し合っって利用者 に合った支援につなげている。職員の意見により休憩時間をずらしたり、休憩場所を決めたりしている。希望休も取れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体のストレスチェックを受け相談しやすい職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体での研修GH会議内での勉強会を行うことにより職員全体のスキルアップを促している。また、新人職員に対してマンツーマンでの指導の実施。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍においてネットワーク協議会などの参加も困難であるも今後の状況をみて積極的に交流する機会を設けている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日々の生活の中での不安や要望などに耳を傾けながらコミュニケーションの場を多くもてるように配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で家族等が困っていることや要望等をお聞きして出来る限り解決できるように対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状態や状況に合わせて他のサービスも視野に入れつつ相談対応を行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者が積極的に家事をされたり裁縫や料理の味付けなど教えていただいたりと互いに関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	窓越しの面会が多くコミュニケーションが取りづらい状況にあったが時には職員も会話にはいりながら共に本人を支えていけるように情報交換をさせて頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍のため外出や面会の制限を行う必要があったが今後は感染状況を見極めながら制限の緩和を段階的に行い馴染みの人や場所との関係が継続できるように支援していく。	電話で話をする利用者もいる。近所に散歩に出かけた時も出会う人と会話をし馴染みの関係になっている。かかりつけの歯科や眼科耳鼻科などに家族と出かけている。年賀状と暑中見舞いを出すなど関係が途切れないように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格や感情の変化を理解した上でレクリエーション等の場を通して利用者同士が関わり合い支え合えるような関係を構築できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)終了時には今後も困りごとや不安なことがあればいつでも相談に応じ支援することを伝えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意向について把握し一人ひとりの思いや暮らし方の希望、本人の趣向に沿うように努めている。	本人や家族との信頼関係を築くことを大切に考えている。日々かかわりの中で常に話を傾聴しており、言葉で言い表せない人には寄り添って思いを感じ取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴や家族からの情報のもと日常生活で把握し本人の活力を生みだせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握し毎日のバイタルチェックにて体調の変化等の早期発見に努めている。また、有する力や強みをみつけ日々の生活の場面場面で発揮できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケース記録からの情報や毎月の会議等のカンファレンスで心身の状態を把握し本人家族の意向を確認して介護計画を作成している。	毎月スタッフ会議でモニタリングを行い利用者の状態把握をしてプランに反映している。状態が変わった時などは主治医を交えその都度家族に説明して、同意の上プランを変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の実践の様子を個別記録に記入し気づいた点については申し送りや業務日誌等を活用し職員間で情報共有を行い見直しやケアに活かしている。		

事業所名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外部サービスの展開が難しい状況ではあるが利用者の方に希望に応じた柔軟な対応の検討を行うよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会長や地域包括支援センター地域の警察等との交流を持ちお互いの協力体制を築いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設医院がかかりつけ医となっている為月に2回の往診と緊急時にも対応できている。また、家族希望の外部受診も必要に応じて行える体制である。	入居時自由に主治医を選ぶことができる。母体の医院より月2回の訪問診療がある。急変時にはいつでも往診してもらえて安心であり、主治医に変更する人が多い。訪問歯科を利用することができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化には常に気を配り特変や急変時には速やかに報告し指示を受けお互いが対応できるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医院関係者と常に情報交換を行うと共に面会にて本人の様子を確認し退院に向けての相談を受けられるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や急変時の対応について意思確認し十分な説明を行い理解納得してもらっている。また、訪問時や電話にて適宜状態の報告を行っている。	入居時に重度化した場合の体制について説明している。多くは母体の医院に入院を勧めている。また体調改善すればグループホームに戻ることもできる。看取りもできる体制である。終末期ケアについての勉強会が行われており、それを基に看取りも経験している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	夜間、休日の緊急連絡、夜間帯の医師看護師との連絡はマニュアルを作成し目につく所に掲示し周知徹底を図ると共に常に確認しあっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作ると共に入居者参加型の避難訓練も行い動画にて記録を残すことにより後日でも勉強できるようにしている。また、自治会長を通して地域の協力の呼びかけを行っている。	年2回避難訓練を行っている。2ユニット合同で利用者と一緒に避難訓練を行い、その様子を動画に収め研修会で勉強している。消火器の使い方を実演している。備蓄は施設に保管している。地域の協力を呼びかけているが実現には至っていない。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりに寄り添い人生の先輩として失礼のない声かけや対応を行っている。	法人で毎月1回接遇委員会が開催されている。個人ごとに目標を立ててスタッフ会議で振り返りを行っている。苗字で呼んだり、親しみを込めて名前でも呼ぶこともある。利用者のプライバシーには配慮しており、入室時はノックし声掛けして入っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の生活ペースで生活して頂けるように対応を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日によって休息したい日もあるので本人の希望にそったケアを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時や入浴時の着替えの洋服等はどのようなものを着たいかなど本人と話し合いながら行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後などお盆を拭いてもらったりおやつ作りの準備や朝食の煮物の味付け等教えていただいている。	料理は法人の厨房より運ばれてくる。利用者の状態を見て刻んだりしている。毎日利用者と一緒におやつ作りをしている。焼きそばやたこ焼きなど作ってパーティをして楽しんでいる。行事食もあり季節を感じる献立となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量のトータルを記入し飲水量が少ない際は引き継ぎの時に申し送りを行い対応している。		

事業所名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者本人がケアした後は職員が磨き残しや口腔内のチェックを行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録をチェックすることで個々の生活リズムパターンを把握し誘導している。また、排泄動作の際は声かけを行い御自身で出来るよう支援を行う	時間でオムツ利用をしたり、リハパンや布パンツにパットの大きさを変えて使用量を減らす工夫をしている。夜間は睡眠や排泄の状態を見ながらパットの交換をしている。トイレでの声掛け方法によって排泄行為が自分のできるようになった人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の形状を確認し水分摂取量の調整を心がけている。食事の前に体操を行うことにより便秘予防等にも努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回希望される日に実施し入浴時音楽を聞くなどし個々にそった支援を行う。	週2回午後入浴である。入浴を拒否する人には声を掛ける人を変えたり翌日にするなど柔軟に対応している。音楽を聴きながらゆっくり入浴する人もいる。暖房器具を設置したりお湯で浴室を温めたりして気持ちよく安心して入浴することが出来る。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は出来るだけ起きて頂き昼夜逆転にならないように対応している。希望される際は臥床して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の保管や受診時の医師による指示を申し送りノートやケース記録し病状変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意とする事を把握し机上で行うレクリエーションやプリントに取り組んだりまた洗濯物干しやたたむことで生活リハビリもしている。		

事業所名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍のため遠方への外出は行えていない。近所を散歩するなどの気分転換は実施している。今後は季節ごとに外出できるようなプランを検討していく。	神楽女湖や中津のコスモス園に出かけた。天気のいい日は医師や家族と一緒に近くを散歩している。春には西寒田神社に桜見物をしたいと計画している。リフト付きバスを使っての外出を希望している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者が使う事はなく職員が管理も行うも必要な場合は本人、家族の確認のうえお金の使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば、ご家族様等と電話でお話して頂いたり、年賀状のやりとりの支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やテーブルには季節の花を飾る等、癒しになるよう工夫し、また季節を感じられる掲示物を作成・掲示している。廊下やホールには、椅子を多く配置することでいつでも休んで座れるよう配慮している。	玄関で検温・消毒をするなど感染対策が取られている。ホールには季節感のある飾り付けをして四季を感じるよう工夫がされている。イスに座り笑顔で談笑する様子が見られる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う人が隣りになるように座る位置を決めたり定期的に席替えを行う等し利用者同士がコミュニケーションが取りやすく思い思いに過ごしてもらえよう工夫に努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅に飾ってあった家族写真や使いなれた家具や馴染みの物、時計や置物を揃えることで自宅に近い居室作りに努めている。	習字など作品や馴染みの小物などが飾られており、落ち着いた雰囲気のある部屋作りとなっている。その人にとって不要なものや危険なものは置かないようにして個々に合わせた工夫がされている。各部屋にトイレがあり職員が毎日掃除をしている。	

事業所名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	手すりや介助バーを使用することで自力にて起き上がりが行えるなど自立にむけた生活を送れるよう配慮している。また、車いすでも自由に行き来できるようにバリアフリーに配慮して、利用者一人ひとりの能力を活かせるようにしている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4470101967		
法人名	医療法人 展寿会		
事業所名	認知症対応型グループホーム「ふじ乃家」 <別館>		
所在地	大分市大字寒田235番地の16		
自己評価作成日	令和5年2月17日	評価結果市町村受理日	令和5年5月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	令和5年3月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・朝食、おやつはグループホームで調理し食材は地元の物を使用するように心がけている ・入居者の残存能力を活かしながらその人らしい生活が送れるように常に職員間で意識、話し合いながら支援を行っている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【認知症対応型グループホーム「ふじ乃家」<本館>に記載】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域とのつながりを大切に」の理念を掲げ密着型の共有、理解をしていくため入職時の研修、朝礼で復唱している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	区の一員として区費の支払い、コロナ禍前までは地域ボランティアの受け入れ、集まりなどに参加させていたが、交流は現在行えていない。その中でも週1回以上の施設周りの掃除を通じて地域住民と顔見知りの関係が継続出来ている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地区の集会などでスライドや事例を用いて話の機会が持っていたが、コロナ禍で交流は出来ていない。法人の広報誌で施設の紹介などは出来ている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で従来通り参加者を招いての会議開催は出来ないが資料を作成しスタッフ間で内部研修を行い意見交換に努めた		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	上記のように運営推進会議中止により直接話をする機会は減ったが不明なことはいつでも連絡できるような体制をとっている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体、グループホーム内での勉強会で共有、理解を周知している。施錠を含め身体拘束を伴うケアはしていない。尚、運営推進会議開催時「身体拘束等について」話の場を作っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や、申し送りの時に情報交換・共有をしている。業務の中観察、些細な声掛け対応にも注意を払っている		

事業者名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体の研修や情報交換等で理解の場を得ている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、解約時、改定時には他職種と連携しご家族に説明し理解、納得して頂けるよう心がけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍により家族等の面会は少ないが何かあれば個別に対応できるようにしている。又、意見箱の設置、併設の老健窓口でも意見要望を相談できるようにしている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要に応じてスタッフ会議の開催や個別に、意見や提案を話せる機会を持つ		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の希望も含め、各々の役割からやりがいを持ちやりがいを持ち日々の業務に取り組めるようにしている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	気づきノートや、申し送りノートを活用しケアの統一や、相談できる環境の提供、工夫している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で厳しい状況で厳しい状況ではあるが、可能な範囲で研修時などに情報交換など行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が今までどんな生活や趣味を持っているかを聞き出し支援に生かしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望等を職員間で共有し、面接時にはどの職員でも対応できるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状態や家族の要望等を見極めてまず何が必要なのか優先順位を決めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話や情報の中から得意な事や残存能力を生かす事で出来る事を、普段の暮らしに取り入れられる様にしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との会話の中で本人との対応の仕方や接し方を共有し支援に繋げられる様にしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍前は馴染みの人とも面会出来やすいようようにしていたが、現在は面会にも制限をかけている状況ではあるが散歩などを通じて馴染みの場所を回れるようにしている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	本人の性格や、状態を配慮し安心していられる席の配置を考えている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した家族にも運営推進会議に有識者として参加を依頼する事や必要に応じて情報の提供を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思、その人らしい生活が送れるように家族や他職種とも相談しながらその人らしい生活が送れるよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族との会話の中からその人の起きている時間や寝る時間等の暮らし方を把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員それぞれに担当利用者を決め、観察等で把握した情報をスタッフ間で共有し支援に繋げている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当利用者より現在の状態を共有し月に1回以上スタッフ会議や毎日の申し送り等で意見を共有し本人にとって必要な介護計画に反映できるようにしている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	それぞれの生活の気づき等を記録し職員全員がいつでも目を通せる様にしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急時でも対応出来るように人員配置の仕方にも工夫している		

事業者名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	2か月に一度運営推進会議を開催し地域の自治会、警察、地域包括支援センター、老人会の代表に参加して頂き意見交換をしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の医院より月2回の往診がうけられ必要に応じて家族と相談し外部の医療機関の受診、診察が出来るように支援している		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間看護職への緊急連絡体制を整えいつでも適切な受診や看護が受けられるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には医療機関へ最新の情報を提供している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の説明に加え状態が変化した時にはその都度家族、介護だけでなく他職種と連携し支援につなげている。また、重要事項説明書に記載し同意を得ている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	申し送り等で個々の状態を把握したり勉強会を実施し冷静に行動できるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回は避難訓練や勉強会を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人全体で月に1回接遇委員会があり普段より接遇に対して意識をしており利用者が不快な思いをしないよう言葉かけや対応に気をつけている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけやコミュニケーションを図るなどをして利用者本位の自己選択や自己決定ができるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の意見に耳を傾け希望に沿えるよう環境を整えることを心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗顔や髭剃り、爪切りなど清潔を保てるよう支援を行っている。また、入浴時や更衣の際は自分で服を選んで頂ける様に声かけの支援を行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ゆっくりと自力摂取できるよう食事時間を長くとったり一人ひとりに合わせ食事形態を変えたりと工夫もしている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェック表に記録し職員全体で把握できるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	うがいや歯磨きを初めとしたケアを自分の力だけで不十分な部分のサポートを行い口腔内の衛生状態を良好に保つようになっている		

事業者名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせて誘導行いプライバシーの考慮しながら自尊心に配慮し排泄パターン表を用いて体の負担も考えながら支援を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬だけに頼らず水分摂取やヨーグルト、牛乳を使ったおやつなどを提供した、体操への参加を促し支援している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望やタイミングに合わせてその日の顔色や体調をみたくえで入浴の声かけを行っている。また、入浴が出来なかった方については別日に入浴できるようにしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	照明の調整や安心して気持ちよく眠れるように環境を整え室温の調整、昼間の過ごし方に配慮し支援している。また、顔色や体調をみながらその時々で休息できるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りノートを活用し内服方法等共通認識できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コミュニケーションを図り一人ひとりが何を求めているか各々対応している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や本人の体調に気を配り周辺散策等行っている。また、コロナの状況を考慮しながら外出支援できるようにしている		

事業者名:グループホーム「ふじ乃家」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金の管理をできる方がいない為所持することやコロナ禍で外出して買い物の機会がない。必要に応じて希望な物や本人より希望があった物は預かったお金より支払い金銭出納帳に記入し家族に確認を行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自ら電話をすることはないが電話がかかってきた時は支援できるようにしている。また、手紙をやりとりしている方はいないが年賀状などを一緒に作成し家族に出している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	何か動作や作業等にうつる際何気ない会話や天候、日々の出来事を取り入れ会話、介助に入るようにしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの性格なども考え声かけ等行っている。席の配置等も考え行っている。その日の気分もありレクリエーション等に参加している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のADLや楽しみも考え配置を心掛けている。また、配置も何度も変えることなく生活のしやすさも提案できている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動作時にすぐに声かけもせず少し見守りご本人の様子をみて声かけ介助行うようにしている		